

平成29年度日本原子力学会 北関東支部 若手研究者発表会 優秀発表賞について

2017年4月14日、平成29年度北関東支部大会に先立って開催された「平成29年度日本原子力学会北関東支部若手研究者発表会」(東海村、産業・情報プラザ「iVil」)では、一般の部(計37件)、及び学生の部(計11件)の発表があり、活発な議論が行われました。これらの発表の内、審査委員会の審議を経て、一般の部及び学生の部それぞれについて最優秀発表賞と優秀発表賞の受賞が決定しました。

1.一般の部

○最優秀発表賞(1件)

・佐藤 優樹(日本原子力研究開発機構)

「マルチコプター型UAVを基盤とした遠隔放射線可視化システムの開発」

○優秀発表賞(3件)

・桑原 彬(日本原子力研究開発機構)

「半導体レーザーを用いた同位体分析における圧力広がりの影響」

・宮崎 康典(日本原子力研究開発機構)

「抽出クロマトグラフィ法に適用するMA回収用吸着材の放射線劣化研究」

・丸山 孝仁(量子科学技術研究開発機構)

「バーチャル・リアリティによる放射線環境下でのロボット遠隔操作」

2.学生の部

○最優秀発表賞(1件)

・入松川 知也(東京大学)

「タンタル吸収体を用いたγ線超伝導転移端センサの開発」

○優秀発表賞(1件)

・于 嵩(東京大学)

「糖転移フラボノイドによるDNAの防護効果の研究」

以上